

JHL NEWS

No.20

2014年2月3日

●発行●
日本ハンドボールリーグ機構
会長 多田 博
東京都渋谷区神南1-1-1
電話 03-3481-2494

女子プレーオフの残り1枠はソニーに

～第38回 日本ハンドボールリーグ・第19週～

第38回日本ハンドボールリーグ・第19週は2月1、2日に宮城などで男子2試合、女子3試合が行われ、女子5位の三重バイオレットアイリスが敗れたことでソニーセミコンダクタが最後のプレーオフ切符を獲得、戦いを再開した男子はトヨタ自動車東日本が勝利を握った。

宮城での東日本-豊田合成は、合成が序盤から7人攻撃を仕掛けるも、東日本は落ち着いて対応し、開始7分5-1と東日本リードで試合が進む。対する合成はポスト中村を絡めた攻撃で追撃し、20分10-10と並ぶ場面があつたが、東日本は遠山、玉井らで再びペースを奪い返し16-12と4点リードで前半を折り返した。後半に入って合成も芳伸、出村、今村らで懸命に追いすがつたが、安定した試合運びで終始リードをキープした東日本が30-27で快勝。中でも10得点をマークして東日本を勝利に導いたルーキー玉井の活躍が光った。

鹿児島のソニーセミコンダクター・オムロンは、オムロンが石立のカットイン、稻葉のロングシュート、GK藤間の好セーブなどで開始10分までに5-1と先行。その後、ソニーはタイムアウトを取ってペースをつかみ、守りからの速い攻めでリズムに乗り、藤井のサイドシュート、田中のステップシュートなどで11-10と逆転して前半を終えた。ソニーは後半立ち上がりに錦織の連打でリードを広げるが、オムロンも藤井の強打などで8分16-16と同点に並び、その後は一進一退の展開が続いた。勝負の行方は終盤までもつれ、両チームの譲らぬ攻防にスタンドが沸いた中、藤井の粘りのシュートや守りからのパスカットで要所を締めたオムロンが26-24と接戦を制した。

石川の北國-飛騨高山ブラックブルズ岐阜は、松本で先制した飛騨高山がその後も金恩恵、池之端らで追い打ちをかけた。一方の北國は持ち味のアグレッシブなディフェンスが機能せず、得意の速攻に持ち込めない苦しい展開。それでも北國は14分に横嶋(か)のポストシュートでようやく逆転すると、八十島の速攻、河田のミドルシュートなどで得点を量産、怒涛の12連取で完全にペースをつかんだ。北國は16-5と大量リードで迎えた後半も堅守からの速攻や多彩な攻撃が冴え、塩田の速攻、田邊のサイドシュートなどで立て続けにゴールを割り、GK寺田の好守もあって一方的な展開に持ち込んだ。

岩手などで男子8試合、女子6試合が行われる次週では、男子は残り1枠のプレーオフ切符を争う湧永製薬と琉球コラソンの戦いぶりに注目。女子は首位・オムロンと3位・広島の対決がハイライトに。



④首位のオムロンを追走する北國銀行・横嶋(彩)
⑤7位にランクアップした東日本・崎前

第20週の日程

2月8日(土)	岩手	花巻市総合体育館(JR東北本線花巻駅から車10分)	13:00~ 15:00~	(男)	トヨタ自動車東日本 × トヨタ紡織九州
	徳島	徳島市立体育館 (JR高徳線徳島駅徒歩5分)	13:00~ 15:00~	(男) (女)	豊田合成 × 琉球コラソン オムロン × 広島メイプルレックス
2月9日(日)	宮城	フラップ大郷21 (JR東北本線松島駅から車15分)	12:00~ 14:30~	(男)	トヨタ自動車東日本 × 北陸電力
	香川	高松市香川総合体育館(JR予讃線高松駅からバス「浅野」下車、徒歩15分)	12:00~ 14:30~	(女) (男)	三重バイオレットアイリス × H.C.名古屋 大崎電気 × 琉球コラソン
2月11日(火)	愛媛	松山市総合コミュニティセンター体育館(JR予讃線松山駅徒歩10分)	12:00~ 14:00~	(女) (男)	ソニーセミコンダクタ × 飛騨高山ブラックブルズ岐阜 豊田合成 × 大同特殊鋼
	広島	東区スポーツセンター(アストラムライン牛田駅徒歩2分)	13:00~ 15:00~	(女)	広島メイプルレックス × 飛騨高山ブラックブルズ岐阜
	高知	高知県立県民体育館(JR土讃線高知駅から路面電車「桟橋通2丁目」徒歩1分)	13:00~ 15:00~	(男) (女)	湧永製薬 × 大崎電気 北國銀行 × H.C.名古屋 ソニーセミコンダクタ × 三重バイオレットアイリス



トヨタ紡織・海道

紡織、広島が順当勝ち

佐賀でのトヨタ紡織九州-北陸電力は、10分過ぎから北電の退場に乘じてスパートをかけた紡織が12分10-6と混戦を抜け出し、そのまま主導権をキープして21-16で前半を終えた。後半に入り、北電も紡織のミスを得点につなげて15分24-26と肉薄したが、タイムアウトを取って態勢を整えた紡織は中畠らの活躍で流れを引き戻すと、赤塚らで必死に迫る北電の反撃をかわし33-28で勝利を握った。

三重での三重バイオレットアイリス-広島メイプルレッズは、高山、宋海林の連打で早々と主導権を握った広島に対し、三重は原、早船らがシュートを狙うも広島GK田口の好守に阻まれて苦戦。前半終了直前にも広島は大前、高山が立て続けに速攻を決め、15-8と7点リードで前半終了。後半も広島の勢いは止まらず、エース宋海林を中心に次々と加点、20分28-11として試合を決定づけた。

◆ 2月1日(土) 男子
宮城・ラップ大郷 21

トヨタ自動車 東日本 30 (16-12 3勝1分8敗) 27 豊田合成 (14-15 3勝1分9敗)

<1/1>	K 永瀬	戸	K
0/ 3 濱口	原	0/ 0	0/ 0
6/ 6 遠山	田	0/ 2	2/ 3
2/ 3 川端	大橋	2/ 4	1/ 1
0/ 0 河内	谷島	0/ 0	0/ 0
5/ 8 松本	中島	1/ 3	0/ 0
5/ 7 吉田	江藤	0/ 0	0/ 0
2/ 2 8/ 9 玉井	藤田	1/ 3	0/ 0
<0/3>	K 関根	今村	K
0/ 0 桑名	藤田	4/ 5	0/ 0
0/ 0 佐藤	中村	6/ 8	0/ 0
0/ 0 崎芳	仲野	4/ 9	0/ 0
2/ 7 上野	藤堂	2/ 6	0/ 0
	岡山	盛村	4/ 8

2/2 28/43 8(FPP) 6 24/48 3/4

シュー	ト阻止率
0.000	0/ 0 永瀬
0.368	14/38 関口
	戸 9/31 0.290
	野 0/ 1 0.000
	藤 0/ 0 0.000
	藤堂 3/ 8 0.375

0.368 14/38 (GK) 12/40 0.300
審判 (富田・野平) 觳客 533人

第5回チャレンジ・ディビジョン

第5回チャレンジ・ディビジョンは2月1日大阪でBブロックの最終戦1試合が行われ、H C和歌山がOSAKA SELECTIONを退けて5戦全勝で1位を決めた。これでA、Bブロックとも全日程を終了。2月22・23日にトヨタスポーツセンター(愛知)で決勝トーナメントと順位決定戦が行われる。Aブロック1位・大同大学、同2位・トヨタ自動車、Bブロック1位・H C和歌山、同2位・HONDAの4チームが決勝トーナメントに進出して優勝を争う。

〈Bブロック〉

2月1日大阪・八尾市立総合体育館

HC和歌山 28 (16-10 12-14) 24 O S A K A SELECTION

選手登録情報

〈大同特殊鋼〉

No.4 藤江 恭輔 1991.06.14 176cm 66kg 右 木田小→光陽中→北陸高→日本体育大

No.5 石橋 龍 1991.06.27 173cm 64kg 右 南林間中→法政二高→日本体育大

〈湧永製葉〉

No.10 稲毛 隆人 1991.11.09 182cm 87kg 左 塩江中→香川中央高→大阪体育大

No.17 子安 貴之 1991.12.18 181cm 80kg 右 大淀中→此花学院高→大阪体育大

No.22 萩原 良太 1991.07.30 187cm 95kg 右 塩山中→駿台甲府高→明治大

〈豊田合成〉

No.21 小塙 豪紀 1991.09.18 185cm 82kg 右 東海南高→中京大

〈北陸電力〉

No.7 須坂 佳祐 1992.03.02 187cm 82kg 右 増生中→上田染谷丘高→中部大

〈北國銀行〉

No.19 角南 唯 1991.06.07 161cm 61kg 左 下津井中→四天王寺高→大阪体育大・抹消 No.4 上町 史織

※いずれも2月8日より出場可能

男女個人ランキング 第19週終了現在

《男子》

《女子》

得点王

1 玉井 宏章 (トヨタ自動車東日本)	82点	(12試合)	1 藤井 紫緒 (オムロン)	107点	(14試合)
2 赤塚 孝治 (北陸電力)	76点	(12試合)	1 宋 海林 (マイフルレッズ)	107点	(14試合)
3 成田 幸平 (湧永製薬)	73点	(13試合)	3 藤井 保奈美 (ソニーセミコンダクタ)	100点	(15試合)
4 信太 弘樹 (大崎電気)	72点	(12試合)	4 原 希美 (バイオレットアイリス)	89点	(15試合)
5 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	64点	(12試合)	5 河田 知美 (北國銀行)	88点	(15試合)
6 高景 淳 (大同特殊鋼)	59点	(12試合)	6 高山 智恵 (マイフルレッズ)	79点	(14試合)
7 豊田 賢治 (大崎電気)	57点	(12試合)	7 田中 美音子 (ソニーセミコンダクタ)	72点	(15試合)
8 今村 彰伸 (豊田合成)	56点	(13試合)	8 増田 寛那 (マイフルレッズ)	69点	(14試合)
8 濱口 直大 (トヨタ自動車東日本)	56点	(12試合)	9 福井 美樹 (H.C.名古屋)	58点	(14試合)
10 横口 瞳 (湧永製薬)	55点	(13試合)	10 横嶋 かおる (北國銀行)	55点	(15試合)

フィールド得点

1 玉井 宏章 (トヨタ自動車東日本)	74点	(12試合)	1 宋 海林 (マイフルレッズ)	91点	(14試合)
2 成田 幸平 (湧永製薬)	73点	(13試合)	2 藤井 紫緒 (オムロン)	80点	(14試合)
3 信太 弘樹 (大崎電気)	72点	(12試合)	3 高山 智恵 (マイフルレッズ)	79点	(14試合)
4 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	64点	(12試合)	4 田中 美音子 (ソニーセミコンダクタ)	72点	(15試合)
5 赤塚 孝治 (北陸電力)	61点	(12試合)	5 藤井 保奈美 (ソニーセミコンダクタ)	70点	(15試合)
6 高景 淳 (大同特殊鋼)	59点	(12試合)	5 原 希美 (バイオレットアイリス)	70点	(15試合)
7 豊田 賢治 (大崎電気)	57点	(12試合)	7 横嶋 かおる (北國銀行)	55点	(15試合)
8 今村 彰伸 (豊田合成)	56点	(13試合)	7 増田 寛那 (マイフルレッズ)	55点	(14試合)
8 濱口 直大 (トヨタ自動車東日本)	56点	(12試合)	9 福井 美樹 (H.C.名古屋)	52点	(14試合)
10 出村 直嗣 (豊田合成)	53点	(13試合)	10 田邊 夕貴 (北國銀行)	50点	(15試合)
10 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	53点	(12試合)	10 高橋 恵 (ソニーセミコンダクタ)	50点	(15試合)
10 芳仲 将行 (豊田合成)	53点	(13試合)	10 横嶋 彩 (北國銀行)	50点	(15試合)

シート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 豊田 賢治 (大崎電気)	57点/ 78射 0.731	1 横嶋 かおる (北國銀行)	55点/ 69射 0.797
2 村上 秀行 (トヨタ紡織九州)	64点/ 96射 0.667	2 高山 智恵 (マイフルレッズ)	79点/ 102射 0.775
3 信太 弘樹 (大崎電気)	72点/ 117射 0.615	3 田邊 夕貴 (北國銀行)	50点/ 74射 0.676
4 出村 直嗣 (豊田合成)	53点/ 89射 0.596	4 高橋 恵 (ソニーセミコンダクタ)	50点/ 79射 0.633
5 高景 淳 (大同特殊鋼)	59点/ 103射 0.573	5 田中 美音子 (ソニーセミコンダクタ)	72点/ 116射 0.621
6 玉井 宏章 (トヨタ自動車東日本)	74点/ 131射 0.565	6 藤井 紫緒 (オムロン)	80点/ 145射 0.552
7 成田 幸平 (湧永製薬)	73点/ 133射 0.549	7 宋 海林 (マイフルレッズ)	91点/ 166射 0.548
8 中畠 嘉之 (トヨタ紡織九州)	53点/ 102射 0.520	8 藤井 保奈美 (ソニーセミコンダクタ)	70点/ 131射 0.534
9 芳仲 将行 (豊田合成)	53点/ 109射 0.486	9 横嶋 彩 (北國銀行)	50点/ 94射 0.532
10 今村 彰伸 (豊田合成)	56点/ 119射 0.471	10 増田 寛那 (マイフルレッズ)	55点/ 127射 0.433
11 濱口 直大 (トヨタ自動車東日本)	56点/ 130射 0.431	11 原 希美 (バイオレットアイリス)	70点/ 202射 0.347
12 赤塚 孝治 (北陸電力)	61点/ 142射 0.430	12 福井 美樹 (H.C.名古屋)	52点/ 156射 0.333

7mスロー得点

1 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	20点	(12試合)	1 河田 知美 (北國銀行)	39点	(15試合)
2 東長濱 秀希 (大崎電気)	17点	(12試合)	2 藤井 保奈美 (ソニーセミコンダクタ)	30点	(15試合)
2 野田 祐希 (豊田合成)	17点	(13試合)	3 藤井 紫緒 (オムロン)	27点	(14試合)
4 赤塚 孝治 (北陸電力)	15点	(12試合)	4 原 希美 (バイオレットアイリス)	19点	(15試合)
5 渡部 仁 (トヨタ車体)	14点	(12試合)	5 宋 海林 (マイフルレッズ)	16点	(14試合)
6 平子 卓人 (大同特殊鋼)	11点	(12試合)	6 増田 寛那 (マイフルレッズ)	14点	(14試合)
6 横口 瞳 (湧永製薬)	11点	(13試合)	7 金 恩恵 (飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	13点	(14試合)
8 水野 裕矢 (琉球コラソン)	9点	(12試合)	8 吉田 起子 (オムロン)	8点	(15試合)
9 玉井 宏章 (トヨタ自動車東日本)	8点	(12試合)	9 池原 綾香 (バイオレットアイリス)	7点	(15試合)
10 野村 喜亮 (大同特殊鋼)	7点	(12試合)	9 柴田 理紗 (飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	7点	(13試合)
			9 細田 英子 (H.C.名古屋)	7点	(14試合)

シート阻止率

(フィールドシートを受けた数が、男子9位・女子7位以内のGKが対象)

1 甲斐 昭人 (トヨタ車体)	173本/ 387射 0.447	1 藤間 かおり (オムロン)	213本/ 430射 0.495
2 志水 孝行 (湧永製薬)	157本/ 401射 0.392	2 寺田 三友紀 (北國銀行)	211本/ 448射 0.471
3 川添 将典 (北陸電力)	144本/ 423射 0.340	3 飛田 季実子 (ソニーセミコンダクタ)	201本/ 465射 0.432
4 下野 隆雄 (トヨタ紡織九州)	70本/ 206射 0.340	4 田 口舞 (マイフルレッズ)	148本/ 353射 0.419
5 久保 侑生 (大同特殊鋼)	70本/ 208射 0.337	5 毛 利久美 (バイオレットアイリス)	177本/ 436射 0.406
6 藤堂 聖二 (豊田合成)	122本/ 364射 0.335	6 戸塚 紗子 (H.C.名古屋)	139本/ 448射 0.310
7 関口 勝志 (トヨタ自動車東日本)	157本/ 484射 0.324	7 菊池 麻美 (飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	122本/ 477射 0.256
8 松野 雅崇 (トヨタ紡織九州)	86本/ 279射 0.308		
9 石田 孝一 (琉球コラソン)	75本/ 256射 0.293		

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 内田 武志 (琉球コラソン)	11本/ 19射 0.579	1 毛利 久美 (バイオレットアイリス)	10本/ 32射 0.313
2 有江 啓 (北陸電力)	6本/ 18射 0.333	2 山中 紵里奈 (オムロン)	4本/ 16射 0.250
2 木村 昌丈 (大崎電気)	5本/ 15射 0.333	3 藤間 かおり (オムロン)	10本/ 42射 0.238
4 志水 孝行 (湧永製薬)	4本/ 15射 0.267	4 瀧澤 瞳子 (H.C.名古屋)	4本/ 17射 0.235
5 木下 国大 (トヨタ車体)	5本/ 22射 0.227	5 菊池 麻美 (飛騨高山ブラックブルズ岐阜)	10本/ 45射 0.222
6 藤戸 量介 (豊田合成)	5本/ 23射 0.217	5 寺田 三友紀 (北國銀行)	4本/ 18射 0.222
7 関口 勝志 (トヨタ自動車東日本)	4本/ 26射 0.154	7 山根 エレナ (バイオレットアイリス)	5本/ 23射 0.217

第38回日本ハンドボールリーグ成績表 第19週第2日終了 2月2日

順位	男子	トヨタ車体	大崎電気	大同特殊鋼	湧永製薬	琉球コラソン	トヨタ紡織九州	トヨタ自動車東日本	豊田合成	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	トヨタ車体		30 ○ 29	30 27 ○ ○ 25 26	25 23 ● ○ 26 20	32 19 ○ ○ 28 14	29 ○ 24	33 ○ 23	27 27 △ ○ 27 21	33 ○ 21	12	10	1	1	21	335	284	51
2	大崎電気	29 ● 30		26 ● 28	30 ○ 27	25 ○ 21	33 37 ○ ○ 28 29	33 32 ○ ○ 32 22	25 34 ○ ○ 22 21	36 30 ○ ○ 24 17	12	10	0	2	20	370	301	69
3	大同特殊鋼	25 26 ● ○ 30 27	28 ○ 26		21 ○ 19	21 23 ○ △ 17 23	30 32 ○ ○ 24 25	29 ○ 27	30 ○ 22	34 31 ○ ○ 18 16	12	9	1	2	19	330	274	56
4	湧永製薬	26 20 ○ ● 25 23	27 ● 30	19 ● 21		34 22 ○ ● 22 25	30 ● 34	29 26 △ ○ 29 24	26 30 ○ ○ 22 28	23 21 ○ ○ 19 20	13	7	1	5	15	333	322	11
5	琉球コラソン	28 14 ● ○ 32 19	21 ● 25	17 23 ● △ 21 23	22 25 ● ○ 34 22		22 ● 23	31 21 ○ ○ 27 18	27 ○ ○ 26	25 ○ ○ 20	12	5	1	6	11	276	290	-14
6	トヨタ紡織九州	24 ● 29	28 29 ● ○ 33 37	24 25 ● ○ 30 32	34 ○ 30	23 ○ 22		41 ○ 24	33 26 ● ○ 34 27	34 33 ○ ○ 24 28	12	5	0	7	10	354	350	4
7	トヨタ自動車東日本	23 ● 33	32 22 ● ○ 33 32	27 ● ○ 29	29 24 △ ● 29 26	27 18 ● ○ 31 21	24 ● 41		33 30 ○ ○ 30 27	32 ○ ○ 22	12	3	1	8	7	321	354	-33
8	豊田合成	27 21 △ ● 27 27	22 21 ● ○ 25 34	22 ● ○ 30	22 28 ● ○ 26 30	26 ● ○ 27	34 27 ○ ○ 33 26	30 27 ● ○ 33 30	27 ○ ○ 23	27 ○ ○ 23	13	3	1	9	7	334	371	-37
9	北陸電力	21 ● 33	24 17 ● ○ 36 30	18 16 ● ○ 34 31	19 20 ● ○ 23 21	20 ● ○ 25	24 28 ● ○ 34 33	22 ● ○ 32	23 ● ○ 27		12	0	0	12	0	252	359	-107

順位	女子	オムロン	北國銀行	広島メイプルレッス	ソニーセミコンダクタ	三重ハイオレットアイス	飛騨高山ブランクブルズ岐阜	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン		26 27 25 △ ○ ○ 26 19 19	24 22 ○ ● 23 24	22 25 26 ○ △ ○ 21 25 24	24 32 ○ ○ 17 12	23 31 ○ ○ 21 9	24 30 35 ○ ○ ○ 7 16 7	15	12	2	1	26	396	270	126
2	北國銀行	26 19 19 △ ● ○ 26 27 25		33 21 ○ ● 22 28	21 21 ○ ○ 20 19	28 35 27 ○ ○ ○ 17 21 14	28 35 30 ○ ○ ○ 15 16 12	32 36 ○ ○ ○ 13 10	15	11	1	3	23	411	285	126
3	広島メイプルレッス*	23 24 ● ○ 24 22	22 28 ● ○ 33 21		26 27 24 ○ ○ △ 22 20 24	30 28 32 ○ ○ ○ 25 20 16	39 34 ○ ○ ○ 17 16	30 32 ○ ○ ○ 14 19	14	11	1	2	23	399	293	106
4	ソニーセミコンタクタ	21 25 24 ● △ ○ 22 25 26	20 19 ● ○ 21 21	22 20 24 ● ● △ 26 27 24		26 21 ○ ○ 19 19	25 28 ○ ○ 16 16	28 28 32 ○ ○ ○ 8 18 10	15	7	2	6	16	363	298	65
5	三重ハイオレットアイス	17 12 ● ○ 24 32	17 21 14 ● ○ ○ 28 35 27	25 20 16 ● ● ○ 30 28 32	19 19 ● ● 26 21		25 24 30 ○ ○ ○ 19 18 14	23 25 ○ ○ ○ 16 11	15	5	0	10	10	307	361	-54
6	飛騨高山ブランクブルズ岐阜	21 9 ● ○ 23 31	15 16 12 ● ○ ○ 28 35 30	17 16 ● ○ ○ 39 34	16 16 ● ● ○ 25 28	19 18 14 ● ● ○ 25 24 30		21 21 ○ ○ 18 20	14	2	0	12	4	231	390	-159
7	HC名古屋	7 16 7 ● ○ ○ 24 30 35	13 10 ● ○ ○ 32 36	14 19 ● ○ 30 32	8 18 10 ● ○ ○ 28 28 32	16 11 ● ○ ○ 23 25	18 20 ● ○ ○ 21 21		14	0	0	14	0	187	397	-210

*この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。